

桐生の名所の名物



志水美屋

志水美屋は、桐生に栄えたり一度は食べたおいしい!! 桐生名物!! 当地B級グルメ、ソー

「サツメ!! おいしい!!」
「さかつ井」の元祖、創業八十年余のお店です。さらに、「秘密のケンミンショー」の第一回日の放送(群馬県特集)でも紹介され、今までも玉木宏さんや角野卓造さん、伊集院光さんやあの石丸さんなど、いろいろな有名人が来店してきました。そして、おいしいソーさかつ井を作り上げるために、

パン粉はふつうのパン粉よりも乾燥させたものを使用しているため、夕しに通しても「夕し」として食感が残ります。味付けには、代々受け継がれている「秘伝の夕し」を使用し、夕しに通りに作りられています。

たぐさんの有名人の胃袋をわしづかみ、小さい手からご老人まで、たぐさんの人に愛されているソーさかつ井をぜひ、行って食べてみてください。

有名店の有名人が来店するほど
まいい〜!!



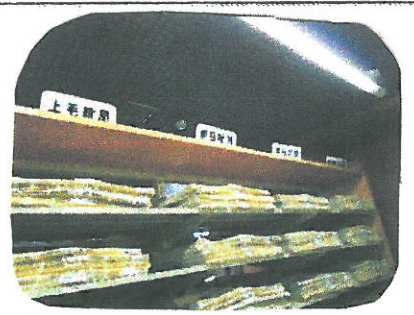
桐生市立図書館
本がたぐさん? 昭和五十四年に建てられた歴史ある図書館です。

一階が図書館で、日本十進分類法に分けられていきます。入って右側が児童向け、左側は大人向けの本になっています。

二階が上がってすぐの参考資料室には、入って右側に郷土資料、左側に参考書があります。右側の奥には新聞があり、上も新聞と桐生タイムスは永久保存で、自分の生まれた年の出来事を見ることが出来ます。他の新聞は一年保存です。

参考資料室のとなりは展示室には、講談社を作った野間清治さんが子どもたちにたくさん本を読んでもらうために作った絵本が展示されています。

めについた絵本が展示されています。



そのとなりの詩書室には、静かに本を読んだり、勉強をしたりできます。

図書館の年間入館者数は約七千二百人、年間貸出冊数は二十四万四千冊です。去年は断下ツツ、大花が...

大川美術館
水道山の中腰にある桐生の美術館大川美術館です。入口には本物

なごしの山の中腰にある桐生の美術館大川美術館です。入口には本物みたいな生たまごNという作品があります。ほんとにうまい一瞬写真を撮りたくなります。この美術館は大川栄二さんがおおよそ四十年あまり集めた作品を自分だけではなく桐生の人々にも見てもらいたくして作

たそうです。この美術館のオススメは松本しゅんすけさんです。大川さんは松本さんの作品が大好きでたいそう集めたそうです。大川さんはあつうのサマリーマンことなごの給料の中でオーケシヨこで集めたそうです。しかしなご東家などではなくこの桐生にしたのでもしやう。それは、大川美術館の生まれた理由で話した通り桐生の人に

見てほしいからです。



山の中腹にあるのは、山を登って見たり、自然の中をゆっくり歩いて思いがけず、たからず。山の中腹には不思議な美術館へ行くと見てもどうですか?



P.S 坂がキツイけど見えて損はないのでぜひ行ってみてください。